

令和6年度 まるごとヘルシーフェスタにおける
食育ひろば「食べ物について遊びながら学ぼう！」について

資料 1-1

1. 日時：令和6年9月7日(土)10時00分～16時00分(食育ひろばは午前中)
2. 場所：バンビオ1番館 3階メインホール・ホワイエ※まるごとヘルシーフェスタ会場にて実施
3. 内容：

- (ア) たけのこ掘りフォトブース
- (イ) 長岡京地元産野菜紹介掲示(地元農家さんに聞きました)
- (ウ) 地元産野菜のおすすめ献立カード配架
- (エ) 魚釣りゲーム
- (ウ) 今日何食べる?(献立シール貼り)
- (エ) 長岡京の料理、ホリホリ対応ビデオ放映
- (オ) 野菜の切り口クイズ・パッククッキング献立紹介配架
- (カ) 児童の食の絵画展示(公立保育所・年長児 121名)

4. 目的：地元産野菜について、生産から出荷、消費、調理法まで一連として学ぶ。
地元農家さんに地元産野菜について、栽培から収穫等まで聞くことでより
地元産野菜について理解を深める。
また、あそびを通して、魚の種類や献立内容・組み合わせについて学ぶ。
クイズやゲームを通して子育て世代を中心に幅広い年齢層へ、食への関心を高めても
らう。

【関連する数値目標(長岡京市第3次食育推進計画 P18)】

項目番号①「食育に関心を持っている市民の割合」

⑥「食育ひろばへの参加者数」

⑧「次世代に地元特産品や行事食を伝えている人の割合」

5. 当日参加者数

まるごとフェスタ来場者総数 1093人(大人639人、小人454人)

6. まとめ

- ・ ポスターチラシを7月・8月 LINE・広報8月・市政モニター9月掲載と、食育および「まるごとヘルシーフェスタ」としても掲載し、幅広い市民のイベント参加に向け周知した。
- ・ タケノコ掘りフォトブースや地元産野菜の農家さんのインタビューでの野菜紹介、おすすめ献立表の配架、クイズラリーを通して野菜について深く理解し、景品として地元産なすを提供することで、地元産物を身近に感じてもらった。

- ・ 献立シールを活用した献立作成や魚釣りゲームによる魚の紹介等体験することで、日々の食事内容についても親子で関心を持つ機会となった。
- ・ ホワイエでは保育園児の絵画展示、クイズや調理照会や地元飲食店等に関する情報提供と一緒に掲示・リーフレット配布することで興味・関心をもち、今後、日常生活に取り入れてもらうきっかけづくりとなる、食育啓発を行った。
- ・ 本年度は屋内外で体験できるこども用イベント、健康度測定等の大人用イベント、親子での「歯のひろば」と種類も増え、親子で一日過ごせるイベントとなり、結果、昨年と比べ子どもの参加が2倍、親世代の20～30代の方が多く、来場者が大幅に増えた。

【当日の様子】 タケノコ堀ブース



魚釣りゲーム(100人参加)

地元農家さんに聞きました(クイズラリー150人参加)



今日何食べよ?(献立作成ブース 80人参加) 食育アンケート(一部)



【当日の様子(つづき)】

野菜切りロクイズ・パッククッキング紹介 保育所児童の絵画掲示(公立4保育所 年長児121人)



aruku&(あるくと)啓発



大腸がん検診啓発



国民健康保険課(特定健診紹介)



健康度測定ブース



乙訓保健所(ロコモ度テスト)

京都済生会病院(体組成計測定
・血圧測定)



明治安田生命 (骨健康度測定
・血管年齢測定・ベジチェック
(野菜の不足度測定))



歯のひろば

